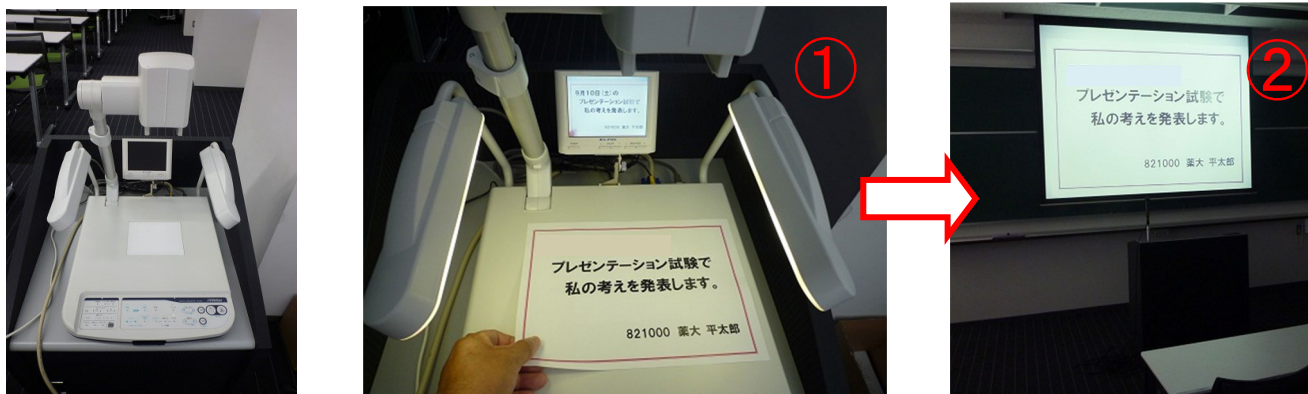


プレゼンテーション試験を選択する受験者のプレゼンテーション方法について

総合型選抜試験でプレゼンテーション試験を選択する受験者は、以下を参考にプレゼンテーション試験の準備をしてください。

プレゼンテーション試験は、試験室に設置した OHC（オーバー・ヘッド・カメラ）を使用して、プレゼンテーションを行ないます。

【OHC(オーバー・ヘッド・カメラ)の使用方法】



OHC は、写真のような投影装置です。

プレゼンテーション試験用の資料を OHC の平面台に載せると（写真①）、資料がスクリーンに映し出されます（写真②）。

スクリーンが横長のため、プレゼンテーション資料は A 4 判のヨコで作成してください。スクリーンには資料原稿と同じカラーで投影されます。

スクリーンに資料を投影し、プレゼンテーションを行っていただきます。

【プレゼンテーション資料について】

- （１）投影されるスクリーンが横長のため、資料は A 4 判のヨコで作成してください。
- （２）使用する色の制限はありません。
- （３）資料の枚数に制限はありませんが、決められた時間内にプレゼンテーションが完了できるように調整をしてください。
- （４）文字の大きさは、24 ポイント以上を使用してください。
- （５）プレゼンテーション資料は試験当日に計 3 部を持参してください。
1 部は映写用、残り 2 部はプレゼンテーションの試験官への提出用となります。

文字サイズ見本
(24 ポイント)

あ

【プレゼンテーション方法の変更等について】※応用生命科学部のみ

作品、標本などの現物を使用する場合や、OHC 以外のプレゼンテーション方法を希望する場合は、試験日の 1 週間前までに事前申告をしてください。

【申告方法】①受験番号、②氏名、③問合せ先（携帯電話番号等）、④具体的なプレゼンテーション方法を、以下のアドレスに送信してください。

【連絡先】 新潟薬科大学入試課 nyuushi@nupals.ac.jp